

第63号

HAKUHOKAI

虹

医療法人 伯鳳会

平成23年11月15日 発行

## 赤穂中央病院・赤穂はくほう会病院の LED工事完了しました

東日本大震災、原子力発電所の事故を発端とする電力問題が関西電力管内にも及び、6月10日に関西電力より15%を目標とする節電の要請がありました。

私たち伯鳳会グループでは従来より行っていた節電活動を強化すると共に、LED照明への切り替えを順次行い、この度、赤穂中央病院・赤穂はくほう会病院のLED照明工事が完了致しました。工事中は患者様、ご家族様大変ご迷惑をお掛けして申し訳ございませんでした。

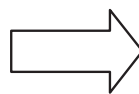
今回の照明機器の変更やその他の節電活動により赤穂中央病院・赤穂はくほう会病院の電気使用量は対前年度比7月：6.2% down、8月：18.2% down、9月：17.8% downとなりました。電力需要の大きい8、9月に目標値である15%を達成することができ、節電に取り組んだ職員全員喜んでおります。とはいえ、今冬も電力の供給が逼迫すると予想されておりますので、今後も活動を継続していきたいと思っております。

— 人々の健康を第一義とする医療法人・社会福祉法人として率先して節電し、  
フクシマのような大惨事が二度と起きないように原発再稼働を阻止しましょう —

これは私たち伯鳳会グループの節電に対する方針です。赤穂中央病院はISO14001認証取得施設でもありますので、これからも安全・安心で高度な医療を提供することはもちろんの事、環境に優しい病院でもあるように努めます。



(befor : 蛍光灯)



(after : LED)

以前のLED照明機器は暗い感じがしましたが、最近のものは蛍光灯と比較しても全く遜色なく、むしろ明るいと感じた程です。

# 泌尿器科レディース外来を開設しました

赤穂はくほう会病院では10月より女性だけの専用外来である泌尿器科レディース外来を開設致しました。

女性特有の尿もれや頻尿を抱えながら、男性の医師に相談することや、診療を受けることを敬遠する女性は多くいらっしゃいます。当院の泌尿器科レディース外来は診察に携わる医師、看護師は女性ですので、そのような方々にも安心して診察を受けて頂くことが可能です。もちろん、細菌性尿路感染症や尿路結石など一般的な泌尿器科診察も行っておりますので、お困りのことがございましたら是非一度、泌尿器科レディース外来にてご相談下さい。

## ◆主な対象疾患（女性特有の排尿に関する疾患）

### ・尿失禁（尿もれ）

腹圧性尿失禁	・咳やくしゃみ、階段や坂道を下る時に尿が漏れてしまう。
切迫性尿失禁	・突然尿がとてもしたくなり、トイレまで間に合わず、尿が漏れてしまう。



### ・頻尿、過活動膀胱

頻尿	・排尿活動が多い。
過活動膀胱	・失禁はないが突然尿がしたくなり、漏れそうになる。



### ・骨盤臓器脱

骨盤臓器脱	・おなかの中が下がった感じで気持ち悪い。
	・お風呂で何か出てきているのに触れる。
	・イスに座るとき陰部のあたりに違和感がある。

### ・間質性膀胱炎（膀胱部痛症候群）

間質性膀胱炎	・頻尿と尿が貯まると強い下腹部痛、下腹部違和感がある。
--------	-----------------------------

#### 担当医師

石井 亜矢乃 医師

#### 診察日・診察時間

第1、3、5 金曜日：14時～16時半

## 新任医師紹介



### 泌尿器科 石井亜矢乃 医師

10月より第1・3・5金曜日14時～16時半に泌尿器科レディース外来を担当することになりました。診察は女性医師、女性スタッフで行いますので、頻尿や尿失禁などでお困りの方はお気軽にご来院ください。

# インフルエンザ予防接種と 今年度からの変更点について

薬剤部 平井 完治

## インフルエンザ予防接種の基本的な考え方

インフルエンザウイルスの感染力は極めて強く、流行して多くの人が免疫を得ようになると、ウイルス自体が構造を変えて変異株が絶えず出現して流行を繰り返します。その為、インフルエンザという疾患そのものをなくすことは困難なのです。

季節性インフルエンザを発病した約3/4は15歳以下の小児ですが、重篤な合併症や死亡者の大部分は65歳以上の高齢者と慢性疾患をお持ちの方です。ですので、高齢者や慢性疾患（特に呼吸器系・循環器系）の治療を受けている方及びそのご家族が予防接種を受けられる事は、インフルエンザ発病時の重篤な合併症や死亡を予防する目的でも有効とされています。ただし、予防接種をされても引き続き手洗いやうがい、マスクの着用など感染予防に努めることが重要です。

## 今シーズン（2011～2012）のインフルエンザワクチン株について

今シーズンのインフルエンザワクチンに含まれる株は、昨年と同様にA型（A/H1N1）、A型（A/H3N2：A香港型）、B型の3価の季節性ワクチンとなっています。昨年と同様の株ですが、効果持続の面から、今シーズンもワクチンを接種しておくことをお勧めいたします。


注）インフルエンザワクチン株は、毎年インフルエンザ変異状況を参考に厚生労働省で決定され各メーカーにより製造されます。従いまして、同シーズンにおいては、製造する各メーカーとも同じ株が入っています。

## 日本における小児の接種量及び接種間隔の変更について

インフルエンザワクチンの接種量について、欧米では以前より3歳未満が「0.25mL」、3歳以上は「0.5mL」と2段階に分かれているだけでした。

一方、日本では昨シーズンまで以下の表に示した通り、年齢によりワクチンの接種量が細かく設定されていましたが、今シーズン（2011～2012）からは世界的な標準接種量に変更されました。また、13歳未満の小児には現在2回接種が行われており、その間隔も「1～4週間」より「2～4週間」へと変更になりました。（可能な限り3～4週間が望ましいとされています。）

変更前（2010～11シーズン）			
接種年齢	1回接種量	接種回数	2回目の接種間隔
生後6ヶ月未満	0.1mL	2回	およそ1～4週間
6ヶ月以上～1歳未満			
1歳以上～3歳未満			
3歳以上～6歳未満			
6歳以上～13歳未満			
13歳以上			
0.5mL	1回または2回		



変更後（2011～12シーズン）					
接種年齢	1回接種量	接種回数	2回目の接種間隔		
生後6ヶ月未満	適応なし		—		
6ヶ月以上～1歳未満	0.25mL	2回	およそ2～4週間		
1歳以上～3歳未満					
3歳以上～6歳未満					
6歳以上～13歳未満					
13歳以上	0.5mL			1回または2回	およそ1～4週間

## 効果的な接種時期について

通常、日本でのインフルエンザ流行期間は12月下旬から4月上旬にかけて起こっている為、予防接種は10月～11月が適していますが、遅くとも12月中旬までには接種を済ませておくほうが良いとされています。

# 我が家自慢のペット紹介コーナー

## 第55回目は、Oさん宅のアロマちゃん

種類：ヨークシャテリア

名前：アロマ

性別：♀

年齢：4歳

病弱なため制限が多く、可哀想なのでついつい甘やかしてしまうのでワガママなお嬢様ですが、家族にとって、大切で居なくてはならない癒しになってくれているアロマです♥



このコーナーでは皆様からの「自慢のペット」投稿をお待ちしています。どしどしご応募ください。

## 赤穂中央病院 (基幹型卒後臨床研修病院)

所在地 〒678-0241 赤穂市惣門町52-6

電話 0791 (45) 1111 (代表)

## 赤穂はくほう会病院

所在地 〒678-0239 赤穂市加里屋字新町99

電話 0791 (45) 1111 (代表)

### 診療案内

平日 午前9:00～午後12:30

午後3:00～午後6:00

土曜日 午前9:00～午後1:00

### 診療予約受付フリーダイヤル

# 0120-891-700

平日 午前8:00～午後7:00

土曜 午前8:00～午後2:00

日・祝日 午前9:00～午後1:00

午後の診療時間は各科により異なります。ご注意ください。

診療時間・曜日は変更となる場合があります。詳しくは待合室に掲示いたしますのでご覧ください。

不明な点は何なりと職員にお尋ね下さい。

## パワーハウスかみかわの会員様が快挙達成!!

## 世界サブジュニアパワーリフティング選手権大会で銅メダル獲得!!

8/30～9/4にかけてカナダのムースジョー市にて世界サブジュニアパワーリフティング選手権大会が開催されました。パワーハウスかみかわの会員様である堀田彩華さん（鶴居中学3年生）が会場し、見事銅メダルを獲得致しました。

「野球部でキャプテンを努めており、男子に負けない打力をつけるためにトレーニングを始めましたが、自分の記録がトップクラスであると分かり、とても驚きました。世界大会では初めての海外でスゴく緊張しましたが、銅メダルを持って帰れて夢のような夏でした。このような経験ができたのもたくさんの方々の支援があったからです。本当にありがとうございました。これからも頑張ります。」と、謙虚に、また、楽しそうに大会をふり返っていたご本人。

「このサブジュニアという年齢カテゴリー（14歳～18歳）の中で、競技を始めて1年で14歳の彼女が世界3位を獲得したことは快挙であり、十二分に世界のトップも目指せる!!」と、指導を担当する松谷コーチが息巻くように、まだまだ伸び盛りの選手ですので、しっかりとトレーニングに励み、上達していただきたいものです。



「良いお年を」と、ご挨拶するには時期的に違和感がありますが、早いもので11月中ごろを迎え、皆様にお届けする広報誌「虹」も2011年の最終刊となりました。

今年は3月に東日本大震災が発生し、日本全国が混乱した一年でした。来年は良い一年になるようにと切に願います。これからインフルエンザや風邪が流行する本格シーズンとなります。皆様、くれぐれも体調面にはお気をつけ下さい。

